

『大学評価研究』 Back Number

| | | |
|--|------------------------------|------------------------|
| 第13号 (2014年8月発行) | | (価格1,527円 (税込)) |
| 論説 | | |
| 大学の課題 地方の公立単科大学で考える | 勝野 眞吾 | |
| 寄稿論文 (特集 大学教育の質的転換) | | |
| 教学マネジメントと教育の質保証 | 川嶋 太津夫 | |
| 学修支援環境の整備—高大接続に注目して— | 小笠原 正明・細川 敏幸 | |
| 大学院教育の発展と改革のための課題 | 山本 眞一 | |
| 単位制度の再構築 | 清水 一彦 | |
| 工学教育における学士課程と修士課程の結合 | 木村 雄二 | |
| 国際基準に基づいた医学教育の実践 | 吉岡 俊正 | |
| 私立大学等改革総合支援事業について | 佐藤 雄一 | |
| 特別寄稿 | | |
| A Model for “Student Learning Outcomes Space” and Mobilization of International Exchange Programs, With Reference to Recent Reforms in Japanese Higher Education | 鈴木 典比古・村中 均 | |
| 投稿論文 | | |
| 学業に関する自己PR 頻度は内定獲得率を高めるのか —能力シグナルの社会的構成説に着目して— | 小山 治 | |
| 研究ノート | | |
| IRにおけるデータ提供と活用支援のあり方について | 高田 英一・高森 智嗣・森 雅生 | |
| 学習成果に基づく授業設計の視点から見たシラバスの内容分析 | 渡辺 雄貴・大森 不二雄・永井 正洋 | |
| 高校時の学習行動と大学での学業適応の関連 — 教科学習と探究学習への取り組みに着目して — | 富田 知世・須藤 康介・佐藤 昭宏・鈴木 翔・山口 泰史 | |
| 労働者の権利に関する大学生の理解が就職活動に与える効果の実証的検討—就職活動の実行・企業応募の基準・進路決定の状況— | 林 祐司 | |
| 第12号 (2013年6月発行) | | 在庫なし |
| 論説 | | |
| 大学評価の多様性 | 浅原 利正 | |
| 寄稿論文 (特集 第2期認証評価の実践と課題) | | |
| 認証評価の展望 | 金子 元久 | |
| 大学行政から見た認証評価の実践上の課題 | 義本 博司 | |
| 「学習成果の測定・評価」と内部質保証 —第2期認証評価を担う JUA の課題と期待— | 早田 幸政 | |
| 第2期大学認証評価の実践と課題—玉川大学における内部質保証— | 小原 一仁 | |
| 質保証は絵空事か—第2期認証評価実践上の課題— | 山田 勉 | |
| 「国立大学における認証評価」 —第1サイクルの経験と第2サイクルの課題— | 宇川 彰 | |
| 公立大学の特徴と認証評価に関する課題 | 奥野 武俊・中田 晃 | |
| 大学連合組織の立場をふまえ、「大学評価」に関する一考察 | 佐藤 東洋士 | |
| 第2期認証評価における大学評価の実践とその課題 | 工藤 潤・松坂 顕範 | |
| 研究ノート | | |
| Public Administration Education in America: A Case Study of | Michael J. Ahn、 | |

| | |
|--|--------------------------------|
| Quality, Strength, and Challenges | Junro Nishide, Yuko Nishide |
| 初年次教育としての学習技法型授業の効果 — 1年生と4年生の共時比較— | 小山 治 |
| 潜在看護師の再就労意欲に関する研究—学歴差に着目して— | 日下田 岳史 |
| 高等教育と逆ジェンダーギャップ—アメリカ合衆国の事例から— | 野崎 与志子 |
| 国立大学法人におけるIRの機能・データベース・組織のあり方について | 高田 英一・森 雅生・ 高森 智嗣・桑野 典子 |
| 戦後大学改革における適格認定の議論展開 —大学基準と大学基準協会に関する教育刷新委員会の議論— | 藤原 将人 |

| | | |
|---|---------------------------|------------------------|
| 第11号 (2012年6月発行) | | (価格1,257円 (税込)) |
| 論文篇 | | |
| 論説 | | |
| グローバル化下の大学教育改革5つのキーワード —質保証・体系化・標準化 vs. 多様化・共通化・国際通用性— | 鈴木 典比古 | |
| 論文 (特集 大学教育の内部質保証システム) | | |
| 自己点検・評価結果の改善・改革に向けた活用 —明治大学の事例 現状と課題— | 納谷 廣美 | |
| 教養教育における内部質保証 | 小林 直人 | |
| 大学院における達成度評価システム：筑波大学における事例 | 宮本 定明 | |
| 内部・教学監査と教育の内部質保証の関係 | 工藤 一彦 | |
| 大学教育の質保証の在り方について —大学の公共性と参照基準の考え— | 北原 和夫 | |
| 日本学術会議から見た内部質保証システムとその課題 「言語・文学」分野の参照基準の策定 —作成方針と問題点 | 塩川 徹也 | |
| 日本心理学会からみた内部質保証システムとその課題 | 今田 寛 | |
| 投稿論文 | | |
| 学士力空間の構築と国際単位互換制度 —高等教育国際化の基礎— | 鈴木 典比古・村中 均 | |
| 研究ノート | | |
| 初年次教育が教育目標の達成に与える影響 | 大竹 奈津子・平尾 智隆 | |
| 看護職養成の大学化と費用負担の変化に関する社会学的研究 | 日下田 岳史 | |
| 国立大学におけるインスティテューショナル・リサーチの機能・人・組織等に関する意識と現状 —IR担当理事に対するアンケート調査結果を基に— | 高田 英一・高森 智嗣 森 雅生・桑野 典子 | |

| | | |
|------------------------------|-------|------------------------|
| 第10号 (2011年8月発行) | | (価格1,048円 (税込)) |
| 論文篇 | | |
| 論説 | | |
| わが国の大学評価システムの成果と課題 | 矢田 俊文 | |
| 論文 (特集 IRのいま) | | |
| 米国におけるIR概念と活動から見る日本型教学IRの可能性 | 山田 礼子 | |
| アメリカにおけるIR人材育成プログラムと日本の課題 | 小湊 卓夫 | |

| | |
|--|-------------|
| 日本の国立大学における IR の現状と課題に関する考察 | 秦 敬治 |
| 日本の私立大学における Institutional Research(IR)の動向 | 沖 清豪 |
| 外部対応から内部改革へ—普及途上のイギリスの IR— | 吉田 文 |
| 米国の大学における戦略的計画を通じた質保証 —根拠に基づくプログラム点検— | 鳥居 朋子 |
| 投稿論文 | |
| 大学教育の質保証と国際化の論理 —標準化と多様化の同時達成— | 鈴木 典比古・村中 均 |
| 研究ノート | |
| 国立大学法人における全学単位での同窓会の現状について —全学同窓会の規約を中心に— | 高田 英一 |
| 評価者研修について —大学内部における評価者育成の事例と課題— | 新野 豊・藤原 将人 |

| | | |
|--|------------|----------------------|
| 第9号 (2010年9月発行) | | (価格838円 (税込)) |
| 論文篇 | | |
| 論説 | | |
| 大学評価研究—大学改革の視点— | 齋藤 康 | |
| 論文 (特集 認証評価の新段階) | | |
| 認証評価の新展開 | 生和 秀敏 | |
| 大学基準協会が実施する新大学評価システム —内部質保証システムの構築の重要性— | 工藤 潤 | |
| 卒業生調査を用いた大学の教育成果の評価 | 小方 直幸 | |
| 米国における高等教育機関・ア krediyteeshon 団体・ 連邦政府の関係について | 森 利枝 | |
| 改善につながる評価をめざして —九州大学における認証評価への取組— | 関口 正司 | |
| 質問紙調査から見る認証評価制度と大学教育改革 —実績と期待— | 串本 剛 | |
| 認証評価における評価者の位置、あり方、課題について | 川崎 友嗣 | |
| 研究ノート | | |
| 認証評価から見える国立大学法人における教育成果の検証の現状 —平成19・20年度の大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価 の自己評価書から— | 関 隆宏 | |
| 評価者研修について —日本の大学評価における評価者育成の動向と課題— | 新野 豊・藤原 将人 | |

| | | |
|--|-------|----------------------|
| 第8号 (2009年7月発行) | | (価格733円 (税込)) |
| 論文篇 | | |
| 論説 | | |
| 自己点検・評価体制の見直し—関西大学の場合— | 河田 悌一 | |
| 論文 (特集 学士課程教育と質保証) | | |
| 学士課程教育改革の展望—中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」 の背景— | 久保 公人 | |
| 大学教育の質的向上のメカニズム—「アウトカム志向」とその問題点— | 金子 元久 | |
| 学士力を培うための学士課程教育 | 濱名 篤 | |
| 認証評価制度の問題点とこれからの改革の方向 | 荻上 紘一 | |

| | |
|-------------------------------------|-------|
| 大学の質保証における認証評価が果たすべき役割について | 前田 早苗 |
| 研究ノート | |
| 大学経営における「見える化」の一方策—大学のファクトブックに着目して— | 佐藤 仁 |

| | |
|--|--------|
| 第7号 (2008年6月発行) (価格1,048円 (税込)) | |
| 論文篇 | |
| 論説 | |
| 教育の質保証と大学評価—情報の非対称性の観点から— | 八田 英二 |
| 論文 (特集 大学教育の実質化のためのFD活動) | |
| 大学教育の実質化のためのFD活動 | 絹川 正吉 |
| 学士課程教育とFD: ティーチングとラーニングの相互作用 | 山田 礼子 |
| FDの義務化—高等教育政策から見たFD— | 鈴木 敏之 |
| 大学院教育とFD | 清水 一彦 |
| 高知工科大学の取組み—教員評価を基盤とするFD活動— | 篠森 敬三 |
| カナダ・マギル大学におけるFDのフレームワークと活動内容 | 佐藤 浩章 |
| 英国における大学教員の専門職能開発と教育開発 | 加藤 かおり |
| 大学におけるSD | 山本 眞一 |
| 研究ノート | |
| 戦後改革期における大学のアクレディテーションに対する理解—大学設立基準設定連合協議会におけるCIEからの提供情報の検討を中心に— | 日永 龍彦 |

| | |
|---|-------------|
| 第6号 (2007年7月発行) (価格1,048円 (税込)) | |
| 論文篇 | |
| 論説 | |
| 大学は誰のものか | 鈴木 守 |
| 論文 | |
| 大学院教育の実質化 | 丹保 憲仁 |
| 大学院改革の政策的展望 | 小松 親次郎 |
| 大学の機能別分化と大学人—大学評価と意思決定のためのリアリティ構築に向けて— | 村澤 昌崇 |
| 会計大学院の第三者評価 | 高田 敏文 |
| 公共政策系専門職大学院の評価について | 森田 朗 |
| 研究ノート | |
| 国立大学における「教員個人評価」の導入・実施状況—「教員個人評価実施状況調査」アンケートをもとに— | 大川 一毅・奥居 正樹 |
| 講演・報告記録篇 | |
| 第8回大学評価セミナー | |
| 初年次教育・リメディアル教育の現状と課題 | 酒井 志延 |
| 高等学校における生徒の学力の実態 | 上田 敏和 |
| 長崎大学における導入教育の現状—転換教育としての教育セミナーを中心に— | 高橋 正克 |
| 今後大学に求められる導入教育 (初年次教育)・リメディアル教育 | 足立 寛 |
| 質疑応答・ディスカッション | |
| 研究交流会報告 | |

| | |
|-----------------------|-------|
| 大学評価システムの効果的運用と効率性の追求 | 柳井 道夫 |
|-----------------------|-------|

| | | |
|--------------------------------|-------|---------------|
| 第5号 (2006年5月発行) | | (価格660円 (税込)) |
| 論文篇 | | |
| 論説 | | |
| 大学改革と評価 | 白井 克彦 | |
| 論文 | | |
| 大学評価、神話と現実 | 羽田 貴史 | |
| 評価以前の研究 | 矢野 眞和 | |
| 寄稿 | | |
| 大学評価の現状と課題—相互評価委員会の評価活動を通して | 生和 秀敏 | |
| 資料復刻 | | |
| 大学に於ける一般教育—一般教育研究基準委員会報告— 文献解題 | 杉谷祐美子 | |
| 講演・報告記録篇 | | |
| 第7回大学評価セミナー | | |
| 本協会の大学評価の概要と高大連携に関する評価の現状 | 生和 秀敏 | |
| 高等学校側の視点から見た大学評価 | 萩原 信一 | |
| 大学評価を高校(高校生)にどう伝えるか | 中津井 泉 | |

| | | |
|------------------------|--------|------|
| 第4号 (2005年2月発行) | | 在庫なし |
| 論文篇 | | |
| 論説 | | |
| 大学改革と第三者評価 | 長田 豊臣 | |
| 論文 | | |
| 大学評価は教員のその大学への貢献度を測る | 阿部 和厚 | |
| 医学部入学者選抜における面接試験 | 小宮 義璋 | |
| 教育評価への新しい試み | 福島 統 | |
| ポイント制による教育総合評価システム | 坪井 和男 | |
| 大学の国際的な質保証に関する考察 | 前田 早苗 | |
| 講演・報告記録篇 | | |
| 第6回大学評価セミナー | | |
| 日本の高等教育における質保証の問題点 | 清成 忠男 | |
| 自己点検・評価の構造と活動 | 鈴木 典比古 | |
| 大学基準協会が実施する認証評価について | 前田 早苗 | |
| 評価者トレーニングについて | 工藤 潤 | |

| | | |
|------------------------|-------|---------------|
| 第3号 (2003年6月発行) | | (価格419円 (税込)) |
| 論文篇 | | |
| 論説 | | |
| わが国の大学は生き残れるか | 木村 孟 | |
| 論文 | | |
| 大学基準の日米比較 | 絹川 正吉 | |
| 国立大学の法人化と教育評価システム | 清水 一彦 | |
| なぜ「外部による相対評価」が必要なのか | 清水 建宇 | |
| 私立大学における財務評価の一考察 | 塚田 茂 | |

| 講演・報告記録篇 | |
|----------------------------|-------|
| 第5回大学評価セミナー | |
| 会長あいさつ「国際的に通用しうる日本の大学の質保証」 | 大南 正瑛 |
| 大学基準協会の新たな信頼性の構築 | 大南 正瑛 |
| 大学評価とアドミニストレーター | 山本 眞一 |
| 中教審答申と新しい質の保証装置 | 天野 郁夫 |
| 教育の規制改革と大学の評価 | 八代 尚宏 |
| 改善・改革への取り組み | 宮本 善弘 |
| 特色ある自己点検・自己評価の取り組み | 熱田 充 |
| 甲南大学の相互評価認定後の改善・改革の取り組み | 榎木 芳仁 |
| 大学再編に向けた自己点検・評価の取り組み | 阪本 靖郎 |
| 相互評価と改善・改革の取り組み | 山口 正恆 |
| 特色ある自己点検・評価の取り組み | 西澤 宗英 |

| 第2号 (2002年3月発行) (価格1,048円(税込)) | |
|--|------------------------------|
| 序 | 大南 正瑛 |
| 論文篇 | |
| 論説 | |
| 大学の国際化と大学評価 | 志村 尚子 |
| 論文(特集 大学評価の国際比較) | |
| アメリカの大学政策 | 江原 武一 |
| イギリスの大学評価と大学教育の改善—高等教育教授・学習開発機構(ILT)と全英優秀教師顕彰制度(NTFS)— | 安原 義仁 |
| EU諸国の大学評価の動向 | 木戸 裕 |
| メキシコの大学教育と大学評価・認定の動向 | 斉藤 泰雄 |
| マレーシアの大学教育と大学評価の動向 | 杉本 均 |
| Structures and Processes of Quality Assessments in Nigerian Universities | Christiana NIKECHI OMOIFO |
| 講演・報告記録篇 | |
| 第3回大学評価セミナー | |
| 会長あいさつ | 丹保 憲仁 |
| 「評価の時代」における新しい大学評価 | 大南 正瑛 |
| 大学改革と大学評価 | 大谷 隆一 |
| 第4回大学評価セミナー | |
| 会長あいさつ | 大南 正瑛 |
| 大学基準協会の新たな改革について—大学基準協会はいま新しく脱皮する好機— | 大南 正瑛 |
| 大学評価をめぐる新動向について | 児玉 隆夫 |
| グローバル時代における大学の質 | 清成 忠男 |
| 新しい大学の役割と評価 | 中村 睦男 |
| Higher Education in the Global Marketplace : The Role of Quality Assurance | Marjorie PEACE LENN |
| 役員懇談会特別講演記録 | |
| 大学基準協会の歴史とわが国における大学評価の特質 | 寺崎 昌男 |

| | |
|-----------------|------|
| 第1号 (2001年6月発行) | 在庫なし |
|-----------------|------|

| | |
|--|--|
| 「大学評価研究」の創刊に寄せて | 丹保 憲仁 |
| 論文篇 | |
| 論説 | |
| グローバル化時代における大学評価の役割 | 大南 正瑛 |
| 論文 | |
| 高等教育システムの変容と大学評価の役割 | 山本 眞一 |
| 報償体系の中の研究評価 | 有本 章 |
| わが国における大学評価のあり方についての一考察 | 土橋 信男 |
| 評価の客観性と「主観評価」に関わる考察 | 早田 幸政 |
| アメリカ合衆国連邦政府とア kredィテーション団体との関係に関する考察 | 日永 龍彦 |
| 調査研究報告（紹介） | |
| 臨定問題調査研究委員会に関して | 岡田 純一 |
| 大学院改革の実施状況に関する調査研究委員会に関して | 田代 守 |
| 講演・報告記録篇 | |
| 第1回大学評価セミナー | |
| 会長あいさつ | 鳥居 泰彦 |
| 相互評価委員会委員長報告 | 大南 正瑛 |
| 判定委員会委員長報告 | 大谷 隆一 |
| 事例報告 | 赤池 憲昭・小川 悦次・ 鏡山 博行・門橋 良文・ 濱 堯夫・平尾 三郎・ 平敷 令治・村松久良光・ 山下 威士・吉村 良一 |
| 第2回大学評価セミナー | |
| 会長あいさつ | 鳥居 泰彦 |
| 相互評価委員会委員長報告 | 大南 正瑛 |
| 判定委員会委員長報告 | 外間 寛 |
| 事例報告 | 赤岩 英夫・石山 博康・ 老川 慶喜・大崎 紘一・ 大津 真作・櫻井 昇・ 永尾 孝雄・名城 邦夫・ 納谷 廣美・野口 薫 |
| 第3回大学評価セミナー特別講演記録 | |
| Quality Assurance Through Regional Accreditation | Larry P. Stevens |